

# 層雲峡ビジターセンター

12月4日 大雪山国立公園指定90周年



〔パノラマ台より層雲峡温泉街と大雪山を望む〕

## 大雪山国立公園の実現に向けて邁進 ～塩谷 忠～

北海道だけでなく、全国的にも名の知れた温泉地、層雲峡。大正から昭和にかけて、層雲峡の開発と国立公園指定に自分の人生を捧げたと言っていい人物がいました。それが塩谷忠です。

塩谷は1900年に層雲峡で温泉を発見した塩谷水次郎の養子で、新聞記者として活躍しながら、層雲峡の開発に情熱を傾けた実業家でもありました。

塩谷が関わった出来事は数知れず、明治・大正期の文人、大町桂月の黒岳～旭岳縦走計画、大雪山調査会の設立、第七師団転地療養所の層雲峡への移設誘致、層雲峡から松山温泉に抜ける縦走登山道と石室設置の要望提出、著名人を多数講師に迎えた大雪山夏季大学の開催、日本百景への入選運動、東京丸の内での大雪山と層雲峡の洋画展覧会開催など、時勢を読み、次から次へとエネルギーに活動していました。

時には私財を投じて活動を行ってきた塩谷が真の目的としていたのが、大雪山の国立公園編入でした。その願いが実現したのが1934年12月4日。今年でちょうど90年を迎えます。



〔塩谷 忠〕

（『開基70周年記念 上川町』より抜粋）

## ～約90年前の層雲峡温泉街のひとコマ～



荒井初一氏銅像と大雪山登山口



層雲峡温泉・層雲閣

（1936年発行『大雪山国立公園 層雲峡の展望』より）

## 大雪山国立公園指定 90 周年記念特集④ ～すばらしい大雪山を次世代に引き継ぐために～

90 年前、広大な原始山岳環境が評価されて国立公園に指定された大雪山ですが、近年、多くの課題を抱えています。その一例を挙げると、黒岳石室のバイオトイレや白雲岳避難小屋のオーバーユース問題、至るところで進む登山道の浸食・荒廃の深刻化、ヒグマ対応の問題、登山者のマナーやルールの浸透不足、温暖化による植生の変化、外来種による生態系への懸念、エゾシカの分布の拡大など、課題は尽きません。

これらのことに対して、私たちにできることは何でしょう。これまでも、そして今も、大雪山を愛し、大切に想うたくさんの人たちによって様々な取り組みがなされています。今回は、その取り組みの一部をご紹介します。

### ① 大雪山国立公園パークボランティア

1989 年発足。国立公園の適正な保護と利用の推進に寄与するボランティア活動を行う団体として環境省が設置。登山道の維持管理や貴重な動・植物の保護活動、外来種駆除・防除などを行っています。



湿原植生復元のパークボランティア活動  
(大雪山国立公園パンフレットより)

### ② 市民参加型の登山道整備イベント「たまには山へ恩返し」

2015 年から続く、行政・民間事業者・研究者が協働し、山岳環境を保全するプロジェクト。2022 年からは 4 ヶ年計画でふるさと納税を活用したクラウドファンディングを行っており、集まった寄附金で整備を行うための資材を購入したり、イベント費用の一部に充てられています。



協働型による登山道整備の様子  
(大雪山国立公園パンフレットより)

### ③ NPO による市民参加型環境モニタリング

NPO アース・ウインドが 20 年以上前から大雪山の高山植物調査を実施。調査に協力できる登山者を募集し、研修を経て調査に参加する仕組みを整えています。(環境省生物多様性センターのモニタリング 1000 の高山帯調査サイトの一つにもなっています。)

### ④ 登山道維持管理協力金

白雲岳避難小屋利用者及び白雲岳周辺登山道を通る人が対象の登山道利用協力金。2020 年、白雲岳避難小屋が周辺登山道の補修を行う拠点として再整備されたことを契機として、関係機関（環境省・北海道・上川町等）が協働で補修を含む維持管理をする体制が構築されました。



自然から楽しみや感動、癒しや恵みなど、たくさんのもを享受している私たちの役割は、その自然のすばらしさを絶やすことなく、次につないでいくことです。そのためにできることを一人一人が考え、実行していきたいですね。

## 冬季観察会のお知らせ

〔内容〕スノーシューハイキング  
〔場所〕大函・ニセイチャロマブ  
〔日時〕2025 年 1 月 18 日～2 月 16 日  
までの土・日 開催 (午前 10 時～)  
〔参加費〕3,000 円  
〔参加対象〕中学生以上(未成年は保護者同伴)



11/9 時点の氷柱の赤ちゃんです。これからどんどん大きく成長していきます。



※事前申し込みが必要です。

※詳細については当センターまでお問い合わせください。



【お知らせ】12/15(日)、旭川市市民活動交流センター CoCoDe において、「大雪山国立公園指定 90 周年記念フォーラム」(9:30～17:30) が開催されます。入場無料、参加自由。たくさんのご参加、お待ちしております。(※詳しくは大雪山国立公園連絡協議会 HP をご覧ください。)